図－１　今後想定される環境安全面での取組

建設準備段階 → 建設段階 → 操業段階

PCB事業検討委員会

委員会を通じた助言等
- 第１期整備施設における環境安全施策（Ｈ１３．１１委員会報告書において整理）
- 北九州事業の操業に向けての環境安全施策について（Ｈ１４．２ 委員会報告書）
- 第２期に向けた検討

地域部会を通じた助言等
- 環境安全施策に関する助言、指導、評価（事業完了まで）

環境事業団

第1期整備施設の設置手続
生活環境影響調査の実施
- 廃棄物処理法に基づく施設設置許可手続
- 都市計画手続

第1期整備施設の建設（約2．5年／約0．5年）

請負者の選定	施設の設計施工 ＜施設の安全設計＞	施設の設計施工 ＜施設の安全操業計画＞	試運転 ＜性能試験＞	アフターケア ＜施設の安全操業＞
・委員会報告書の条件等の仕様書への反映	・施設におけるリスク分析、評価 ・リスク評価に基づく環境・安全対策の具体化 ・想定される緊急時のシナリオと対応策の整理	・環境・安全に係る各種の操業計画の策定 ・環境・安全に係る各種マニュアルの作成 －運転管理 －緊急時等連絡体制 －作業安全 －防災、事故防止 －モニタリング（排出、作業環境）	・性能の確認 ・緊急停止等安全に係る機能の確認 ・操業条件の確認 ・モニタリング方法等の確認	・施設運転会社との連携 ・緊急時のバックアップ

第1期整備施設の操業（約2年）

施設運転会社の選定	作業従事者の研修	運転指導	操　業 ＜施設の安全操業＞	中間総括
	・作業者の教育、訓練(机上、現場見学)	・設計施工請負者による運転指導	・操業情報の収集、整理　・排出モニタリング ・作業環境モニタリング　・事故に至らない異常の原因解析 ・第2期に向けた検討	・事業全般にわたる中間的な総括を実施

情報公開
- 情報公開の内容、手法の検討
- モニタリング結果の公開
- 事業の進捗状況等に関する監視委員会等への説明（事業完了まで）
- 施設への見学者の受入
- 施設の操業情報等の公開

環境モニタリング
- モニタリング内容の検討
- 北九州市と協議の上決定
- モニタリングの実施（大気、水質（海域）、地下浸透、生物）
- 監視委員会等への報告（事業完了まで）

北九州市

ＰＣＢ処理監視委員会
- 環境事業団が行うPCB廃棄物処理事業が安全かつ適正に行われるよう、施設の計画、建設、操業の各段階を通して監視

環境モニタリング、施設に対する指導監督
- モニタリング内容の検討　等
- モニタリングの実施
- 処理施設に対する監視、指導　等